

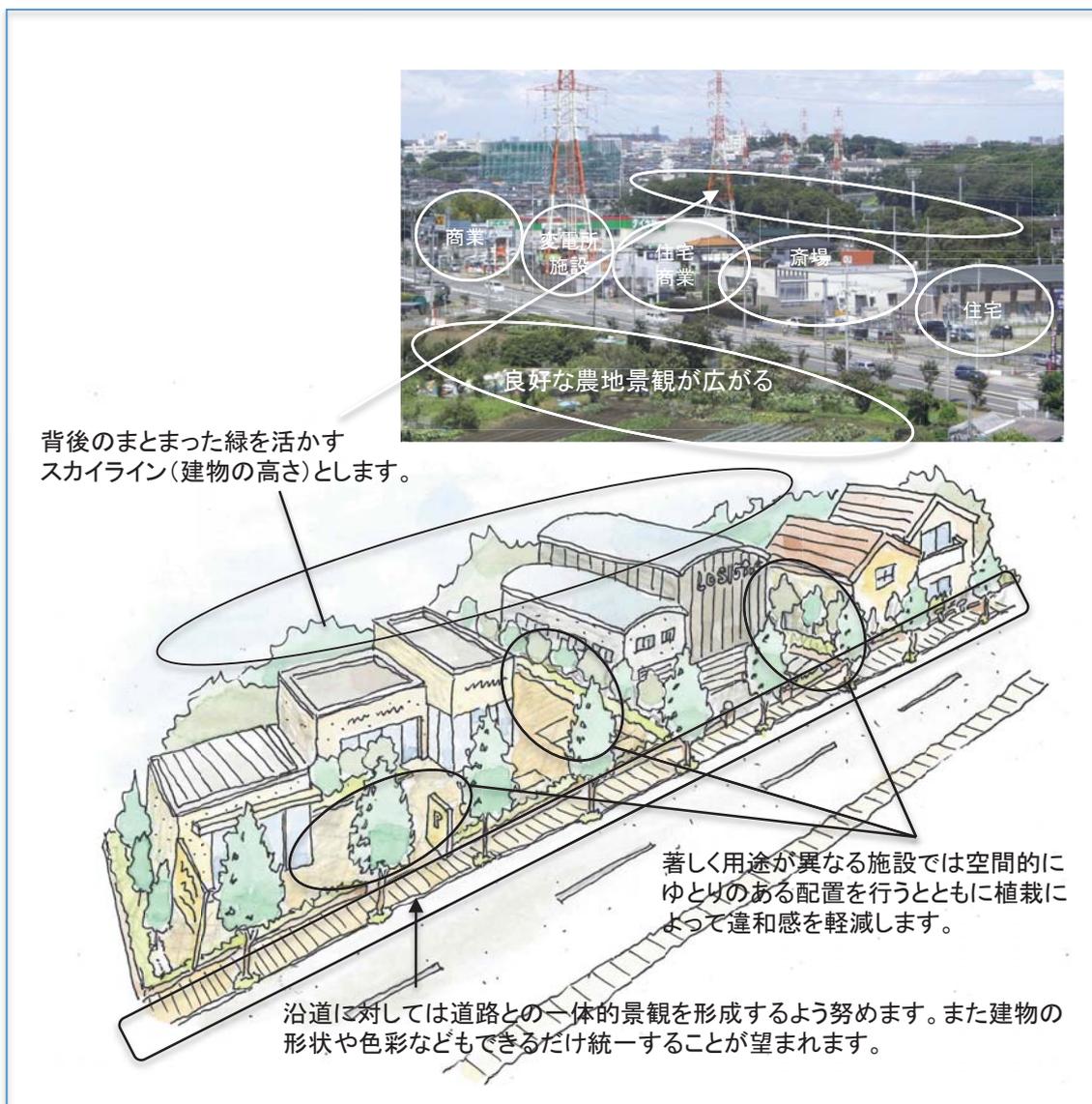
## 【景観形成の基本的考え方】

## 沿道の景の基本的考え方

- 1) 異なる用途が隣り合う境界部では調和を図る⇒繋げる空間
- 2) 通りからの見え方や潤いに配慮した景観とする⇒創る景観
- 3) 広告物の大きさや色彩に配慮する⇒眺める景観

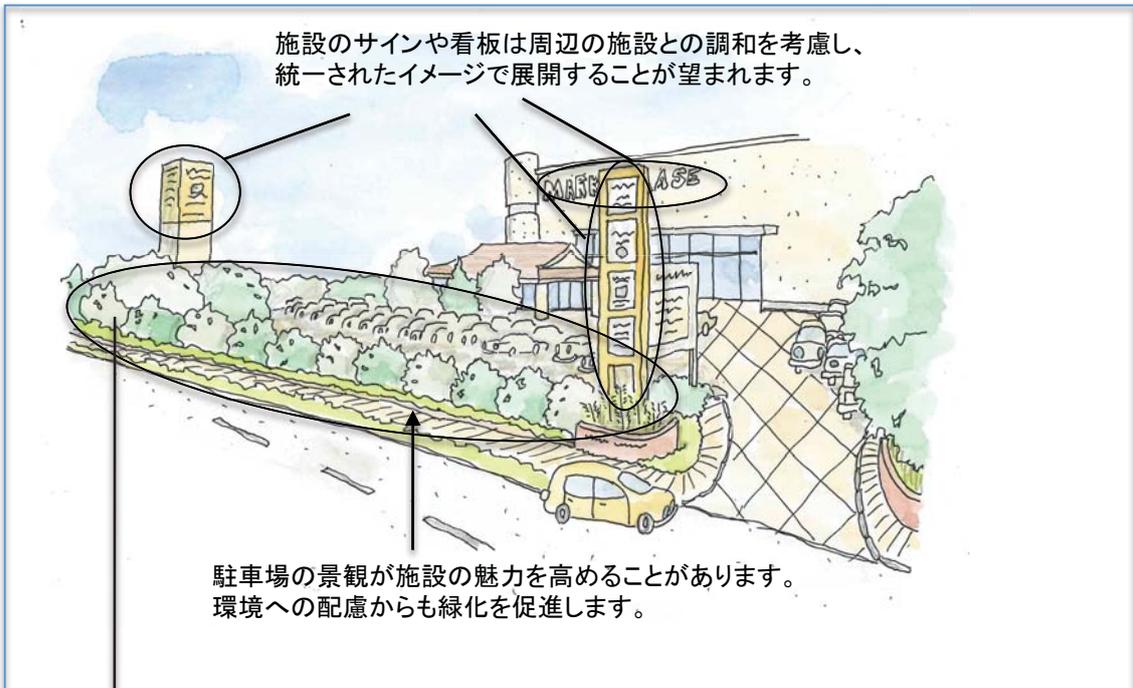
## 1) 異なる用途が隣り合う境界部では調和を図る

本市の幹線道路の良好な沿道景観を形成していくためには異なる用途境界の景観づくりが重要になります。

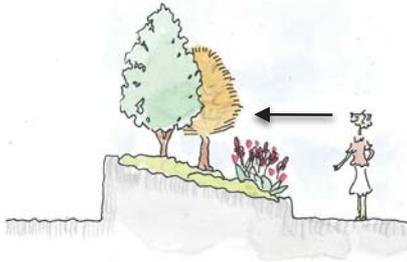


2) 通りからの見え方や潤いに配慮した景観とする

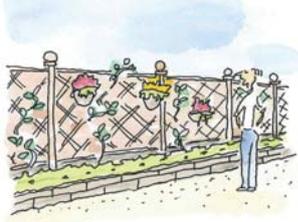
車と歩行者とでは見え方が異なるため、双方に配慮し、安全でわかりやすく、かつ魅力的な空間を形成するための景観形成に努めます。



歩道を歩く人の視線から駐車場がなるべく見えないよう配慮します。



通りからの視線の遮断にはトレリスなども有効です。



3) 広告物の大きさや色彩に配慮する

施設名は看板ではなく、施設に切り文字で掲出すると建物に馴染みやすく、またアクセントカラーが映える場合があります。



複数のテナントが入るビルについては統一された看板に集約して掲出することにより看板が乱立している、乱雑なイメージを回避できます。



【マクドナルド店舗デザインとコーポレートカラー】



# 1 基本計画

## 【色彩景観の考え方】

幹線道路沿いでは車などからの視認性を意識して、派手な色彩を用いるケースも見られます。必要以上の大きさで高彩度色を用いないなど、施設デザインとしてのバランスや周辺環境との調和を考慮した色彩とすることが望まれます。

### ■ 現況の色彩景観

幹線道路沿いも農地や緑が豊かな所が多く、現在は景観の大きな混乱は生じていないように見受けられます。

しかし、沿道型店舗の集積しているところでは、多種多様な独立広告物が目立つところも見られ、また色彩も総じて派手なものとなっています。



県道40号(横浜厚木)沿線



(都)寺尾上土棚線

### ■ 色彩景観の基本的考え方

商業や業務系建物にはある程度、華やかさのある色彩表現も必要なことから、個性ある色彩表現の妨げとならないよう、比較的幅広い範囲の色彩とします。しかしあくまでも連続性のある、また周囲の景観との調和に配慮することが必要です。

### ■ 推奨する色彩



高明度・低彩度

10YR9.0/0.5	10YR9.2/1.0	2.5Y9.0/1.0	5.0Y8.5/1.0	5.0G9.0/0.5	N9.0
5.0YR8.0/1.0	10YR8.0/0.5	2.5YR8.0/1.0	5.0Y8.0/0.5	5.0GY8.5/0.5	N8.5

中明度・低彩度

5.0YR7.0/1.0	10YR7.5/2.0	10YR7.0/3.0	5.0Y7.0/1.5	5.0GY7.0/0.5	N7.5
5.0YR6.0/2.0	7.5YR6.0/2.0	10YR7.0/2.0	2.5Y6.0/2.0	5.0PB7.0/1.0	N7.0

高明度・中彩度

5.0R8.0/1.0	10YR8.0/1.5	2.5YR8.0/2.0	5.0Y8.0/1.5	2.5GY8.5/1.0	5B8.0/1.0
-------------	-------------	--------------	-------------	--------------	-----------

中明度・中彩度

7.5R7.0/3.0	10YR7.5/6.0	10YR6.0/4.0	7.5Y7.0/2.0	5.0BG6.0/1.0	5.0PB7.0/2.0
-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------

### ■ 目指す沿道色彩景観



表参道



定禅寺通り(仙台)



日本大通り



横浜元町



国道134号

## ⑥ 新市街地の景

## 【特性と課題】

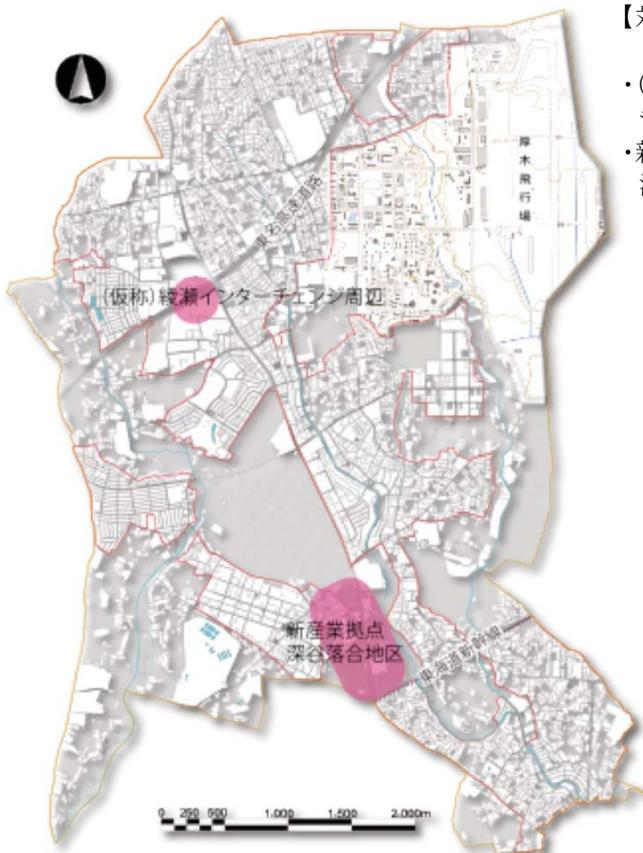
## ■ (仮称) 綾瀬インターチェンジ周辺

工場や住宅など混在した雑然とした景観を形成しています。湘南地域から東名高速道路へのアクセスが向上することから景観は大きく変化する可能性があります。

## ■ 新産業拠点となる深谷落合地区

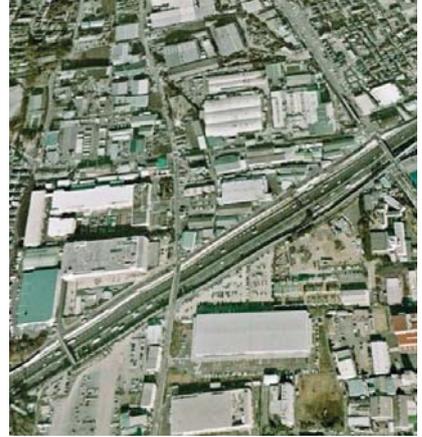
藤沢市の新産業の森に隣接することから、豊かな農地が広がっており、環境に留意した新産業拠点を形成する沿道整備を含めた景観形成が必要です。

## 【対象地域】



## 【対象】

- ・(仮称)綾瀬インターチェンジ周辺
- ・新産業拠点となる深谷落合地区



【景観形成の基本的考え方】

新市街地の景の基本的考え方

- 1)本市へのゲートと都市拠点に相応しい景観づくりを行う⇒創る景観
- 2)周辺地域との連携に配慮した景観づくりを行う⇒繋げる景観

1) 本市へのゲートと都市拠点に相応しい景観づくりを行う

① 地域景観特性の活用

都市的景観のなかにも自然や田畑が残る本市独自の景観を活かすため、新市街地においても「緑」と「広がり」のある土地利用と、季節ごとに花、樹木の変化が楽しめる、景観形成に配慮します。

② 新しい都市拠点の魅力を創出

田園風景や良好なみどり環境に配慮しながら、新産業が融合して育まれる新しい都市拠点として「にぎわい」と「綾瀬らしい魅力」を備えた都市景観の形成を市民とともに図ります。



市民とともに景観形成を行うことが望まれます。  
例NPO法人ふるさと環境市民など



新市街地の形成に向けて多くの工事が発生します。その際に景観に配慮し、周辺に潤いを与えとともに新市街地に相応しい景観形成が望まれます。



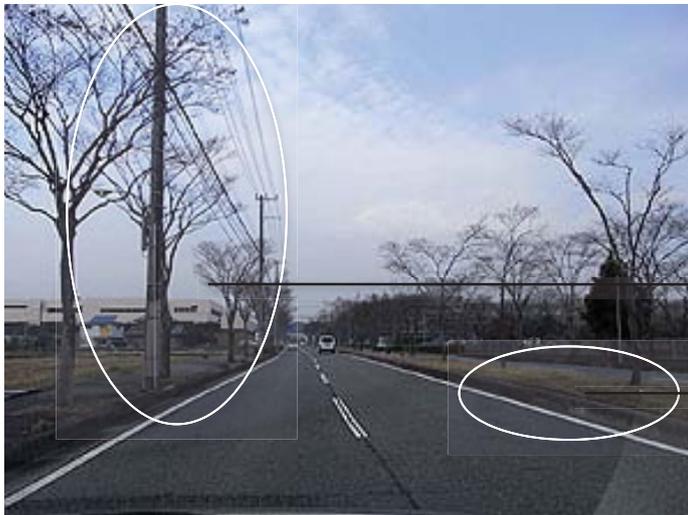
写真はドイツフライブルグ市「エコタウン」。エネルギーを全て地域内で供給するため、屋根は全てソーラーパネルを使用している。色彩など景観にも配慮している。

## 2) 周辺地域との連携に配慮した景観づくりを行う

新たな市街地形成は、大きな景観の変化が予測されることから開発対象地域の景観形成に配慮することが重要になります。藤沢市では「新産業の森」構想が推進されており、（仮称）綾瀬インターチェンジが開通すれば、（都）寺尾上土棚線は新たな都市拠点を繋ぐ重要な幹線になります。本市が単なる通過交通の受け皿にならないよう、市独自のポテンシャルを掘り起こし、より一層の魅力形成と経済の活性化に繋がる景観づくりを促進します。

下記イメージは現在も開発が進む兵庫県三田市の北摂三田テクノパークの市街地整備です。

総面積136.1ha、工場用地面積98.9ha、広大な土地を造成開発された産業団地で44社の企業の工場の生産拠点となっています。



テクノパーク三田

本市においては、空間の広がり重視することが望まれます。

歩道に対して十分な空間を確保した建物配置によって通りに対する圧迫感の軽減に努めます。



藤沢市新産業の森

沿道沿いの街路樹は綾瀬市内においても連携することが望まれます。

周辺農地との境界を既存樹木で区切ることにより、環境影響を最小限にする計画となっています。

# 1 基本計画

## 【新市街地景観の基本的考え方】

新市街地に立地する可能性のある要素として「商業」「業務（オフィスなど）」「工業（工場、倉庫など）」を想定した時、それらの施設が、本市の自然や豊かな緑景観を損なうことのないような配慮が必要です。さらに、本市の顔にふさわしい魅力的な景観を創出するための考え方について事例を用いて説明します。

	商業	業務(オフィス等)	工業(工場、倉庫等)
まち並み形成	<p>丸亀商店街 (高松) 店舗が連なり、街並を形成している、現代版商店街</p>	<p>横浜ビジネスパーク 無味乾燥になりがちなおフィスビル間に水辺空間を設け、潤いのある景観を演出</p>	<p>シャープ亀山工場 道路に対して外壁のデザインを切り替えることによって圧迫感を軽減している</p>
壁面デザイン	<p>綾瀬タウンヒルズ 外壁のアクセントカラーが、軽快感を表し、また、看板を共架にすることによってすっきりとした景観になっている</p>	<p>薬研坂 低層部をガラスにし、中が見えることによって周囲に対する圧迫感を軽減している。</p>	<p>麒麟シードル製造所 外壁に窓面を配置し、照明とガラス窓のデザインが相乗的に美しい景観をつくり出している。</p>
エントランス周辺	<p>ラゾーナ川崎 (川崎) 駐輪場を階段下に設け、雑多なイメージを排除したエントランス周辺</p>	<p>アートビレッジ大崎 (品川区) ゆとりのあるエントランス周辺は植栽もデザインされ、美しい景観を演出している。</p>	<p>アサヒビール神奈川工場 緑の連なりがエントランスに繋がり、規模の大きな工場の緩衝帯になっている</p>
緑化	<p>なんばパークス (大阪) 公園の中に商業施設が配置されており、周辺の緑と一体感を形成している</p>	<p>大鵬薬品工業研究所 (筑波) 多様な樹木の組み合わせが、オフィスの圧迫感を軽減し、豊かな自然を演出している</p>	<p>隅田倉庫の屋上緑化 (墨田区) スカイツリーへの眺望でなく、ツリーからの眺望にこだわり屋上緑化をしている。</p>
看板類	<p>テラスモール湘南 (湘南C-X) 建物のメイン看板を建物内部に設置し、周囲の景観に配慮したデザインになっている。</p>	<p>J:COM (湘南C-X) 建物の一部として看板を設置し、周囲の景観との調和を図っている</p>	<p>ニッカウキスキー仙台工場 自然素材を使った看板</p>
その他	<p>飛鳥寺 (奈良) 周囲の緑を損なわないような自動販売機とゴミ箱の色彩になっている。</p>	<p>エコオフィス (ココロ品川) 周囲に対して圧迫感を与えない建築であると共に環境に優しい仕掛けがある。</p>	<p>カビンプリ工業団地 (タイ) 工業団地の入口の看板のクオリティが高い。</p>

## ⑦ふるさとの景

### 【特性と課題】

- 富士山、河川など記憶に残る景観があります。

本市では様々な場所から富士山を眺めることができます。市役所周辺からの農地の眺めは「ふるさとあやせ」を感じさせる風物詩になっています。

- 季節によって地域を彩る様々な景観があります。

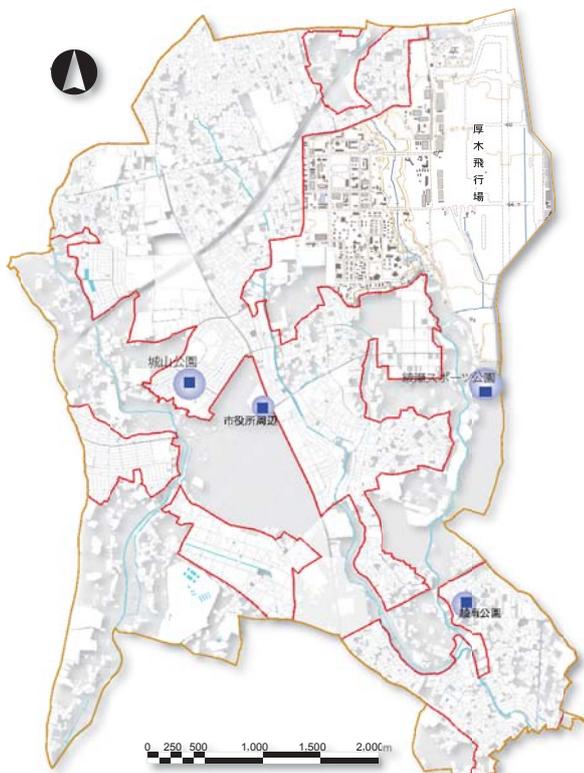
市内には桜や菜の花、また市の花になっている「ばら」や市の木「やまもみじ」を楽しむことができる場所があります。また花や樹木だけでなく、カワセミやホタルなど様々な生物が、人々に四季を感じさせてくれます。

- 祭りやイルミネーションなどイベントそのものが地域を印象付けています。

人々の活動によって積極的にふるさとの景観づくりをしており、それぞれのイベントに相応しい空間演出も大切です。



### 【対象地域】



### 【対象】

- ・市役所周辺
- ・城山公園
- ・綾南公園
- ・綾瀬スポーツ公園

